

アクションプラン内におけるまちづくりの方向性のイメージ

安佐南区の魅力と活力を高める取組を推進するためのアクションプラン（案）※

第〇章 アクションプランの策定に当たって

《略》

第●章 安佐南区の現状と課題

《略》

第◇章 安佐南区のまちづくりの方向性

まちづくりの方向性① 地域愛をはぐくみ、誰もが主役となって暮らせるまちづくり

概要

歴史・文化などの地域資源の活用や、住宅団地をはじめとしたそれぞれの地域における住民の主体的・継続的な活動により、地域への愛着と誇りをはぐくむとともに、誰もが「自らのまちは自ら創る」ことを担って暮らせるまちづくりを進める。

（例）

【主な取組】

- 新 ○〇地区では、観光や会議で〇〇区を訪れる人に楽しんでもらえるよう、テーマ別の案内マップを作成し、来街者へのおもてなしの向上を目指す。
- 新 ○〇地区では、〇〇商店街を中心に、△△発祥の地として、△△を使ったスタンプラリー開催や最優秀△△を決めるコンテストの開催など、にぎわいづくりに資する取組を実施する。
- 継 ○〇商店街では、空き店舗を活用し、地域の学校や団体などの活動の発表の場として、ギャラリーや自主制作映画の上映会などを開催し、様々な集客への仕掛けづくりを行う。
- 継 多くの人を訪れる〇〇駅と、商業地区である〇〇地区を活かしたにぎわいづくりを創出する。
- 継 区内にある歴史的資源の紹介によって、「わがまちの魅力」を再発見してもらい、交流のきっかけづくりを行う。

まちづくりの方向性② みんなで支え合い、安全・安心に暮らせるまちづくり

概要

老若男女を問わず住民同士が支え合うことで、「自助」「共助」による地域の福祉や防災・防犯力を高め、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを進める。

（例）

【主な取組】

- 新 ○〇団地では完成から40年が経過し、高齢化が進む一方、若い子育て世帯も増加している

※アクションプランの名称や構成等については、現段階でのイメージです。

ため、団地内の空き家を地域の活動・交流拠点とし、高齢者から子どもまで幅広い世代が集う交流の場とする。

- ① 〇〇地区では、〇〇駅前の再開発により、新たに建設されたマンションで住民が生活を始めており、以前からその地域に暮らす住民との交流を促進するため、共同でのイベントの開催や地域活動の実施（〇〇公園での花見、お祭りの開催、清掃活動など）により、地域コミュニティの活性化を図る。
- ② 〇〇地区では、外国人市民が増加しており、外国人コミュニティと地域との交流を図るため、多文化交流フェスティバルの開催やお互いの国の料理を紹介する料理教室の開催など、相互の理解を深める取組を実施する。
- ③ 〇〇地区では、繁華街に多くの人を訪れてもらえる安全で快適なまちづくりを進めるため、清掃活動やパトロール活動を行う。

まちづくりの方向性③ 自然とともに豊かに暮らせるまちづくり

概要

里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地域の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らせるまちづくりを進める。

（例）

【主な取組】

- ④ 〇〇地区では、△△川の環境保全と小学生を対象とした環境学習のため、河川の清掃、□□や◇◇の観察等を行う「水辺の学校」を開催する。

まちづくりの方向性④ 地域と大学がつながり、はつらつと暮らせるまちづくり

概要

大学と地域の交流・連携を促進し、大学の知的資源を活用した学びの機会の創出や、大学生のパワーやアイデアを生かした協働の取組により、地域課題の解決を図るとともに、文化的で活力にあふれるまちづくりを進める。

（例）

【主な取組】

- ⑤ 区内の各地域団体と△△大学の大学生が連携し、〇〇コミュニティフェスティバルを開催する。催し物、バザー、ゲームなど、各団体が企画・運営し、地域間の交流を図る。
- ⑥ 区内にある〇〇大学、△△大学、□□大学と連携協定を結び、各大学の学生が「〇区民まつり」や地域行事でのボランティアを行い、地域の担い手となる人材の育成を推進する。

第△章 アクションプランの推進に当たって

《略》